

ごみや資源の問題

どれくらいの量のごみが出ているのだろう？

わたしたちが普段生活していく中で、さまざまな「ごみ」が出ます。人間が出したたくさんのごみで、いろいろな問題がおきています。

日本で一年間に出るごみの量は、約4,500万トン(平成23年度)です。これは東京ドームの約122杯分※に当たる量です。

※平均的なごみの体積である1トンあたり約3.33m³を基準にして計算しました。



これ以上ごみが増えるとどうなるのだろう？

ごみのゆくえ

わたしたちが毎日出すごみは、市区町村が収集しています。燃やせるごみはごみ焼却場で燃やして灰になり、燃やせないごみは、まざれている鉄などの資源を回収したあと細かく砕きます。残った灰や砕いたごみは、最後には処分場に埋め立てています。

処分場での埋め立ての様子



写真：仙台市

処分場の限界

しかし、将来、処分場がいっぱいになって、ごみを捨てる場所がなくなってしまうかもしれません。平成23年度末時点の予測では、このまま毎年同じ量のごみを出し続けると、あと19.4年がいっぱいになってしまうとされました。

ごみを減らさないと大変なことになってしまわうね。

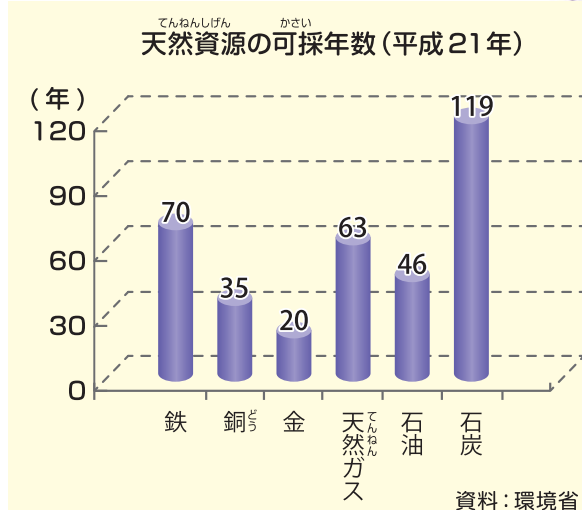


「循環型社会」を目指して

金属や石油といった天然の資源は、人間が作り出すことができないので、限りがあります。右のグラフのように、このまま毎年同じ量を使い続けると今世紀中に取りつくされてしまう可能性があります。

そこで、資源をくり返し利用して、ごみを減らし、なるべく新しい資源を使わない「循環型社会」を目指す必要があります。

可採年数とは、現在の使用量のまま使い続けた場合に、あと何年資源を採取できるかを示したものです。



「3R」という考え方

今、循環型社会を目指すために「3R」を進めようという考え方が広がっています。



Reduce: 使う資源の量や出るごみを減らすこと

- ごみになるものはなるべく使わない。
- 壊れにくく、丈夫な製品を買い、長く使う。

Reuse: ものをくりかえし使うこと

- リターナブル容器を使う。
- いらなくなったものはすぐ捨てずに、人にあげたり、リサイクルショップに売る。

Recycle: 資源として再び利用すること

- 資源としてまた使えるもの(空き缶や牛乳パックなど)をごみとは分別して集め、新しい製品の材料として使う。
- 再生紙でできたノートなど、リサイクルされた製品を使う。



リターナブル容器とは、くり返し洗って使える容器のことじゃ。

「3R」を進める新しい取組

● レジ袋をお店に置かない取組（リデュース）

レジ袋を置かない
山梨県甲府市にある生活協同組合ユーコープちづか店では、平成20年からレジ袋をお店に置かずに、お客さんに自分で袋を持ってくるようをお願いしています。



レジ袋を置かなくなって
もお客さんは減らな
かったんだって。おいら
もレジ袋よりきみがもっ
てきた袋にいれてほし
いな。

生活協同組合ユーコープちづか店内での表示



写真：生活協同組合ユーコープちづか店

レジ袋を減らすことによる効果

レジ袋は、石油から作られています。レジ袋を使わないことによつて、ごみを減らすこと（リデュース）ができ、天然資源である石油の節約にもつながります。

● びんを再利用する取組（リユース）

奈良県での取組

奈良県では、県内で栽培されている「大和茶」を入れる容器にリターナブルびんを用いています。このびんを、県庁、市役所、旅館、ホテルと協力して、販売・回収する仕組みをつくりました。平成25年11月末までに、約20,000本販売し、約19,000本の空きびんを回収することができる見込みです。

大和茶「と、わ」の
リターナブルびん



写真：World Seed

優秀賞を受賞

この取組は、平成25年10月に、環境に配慮した商品の流通や購入をうながす優れた取組を表彰する「グリーン購入大賞」の優秀賞に選ばれました。

● 小型家電リサイクル制度（リサイクル）

平成25年4月から始まったこの制度は、小型家電を回収して、それに含まれる貴金属やレアメタルなどを取り出してリサイクルする仕組みです。

小型家電とは

小型家電とは、イラストのような小型の電化製品です。鉄や銅のほか、金や銀などの貴金属、採掘方法が難しく取り出しにくい貴重な金属（レアメタル）が含まれています。

小型家電の例



資料：環境省

小型家電の回収

この制度では、市区町村が小型家電を回収することになっています。公共施設やスーパー、家電販売店、学校などに専用の「回収ボックス」を設けて回収する方法や、町内の資源ごみ集積所に「回収コンテナ」を設置して決められた収集日に回収する方法などがあります。

回収ボックスでの回収



写真：福岡県

回収コンテナでの回収



写真：福岡県

金属資源などの取り出し

回収された小型家電は、国から認められたリサイクル業者に引き渡されます。その事業者が小型家電を細かく砕き、金属の種類やプラスチックごとに選別したあと、精錬して貴金属やレアメタルなどを取り出し、リサイクルされます。

選別の様子



写真：環境省

もっと調べてみよう！

3Rについて、さらに詳しく学べる冊子を紹介します。
「3Rまなびあいブック」http://www.env.go.jp/recycle/yoki/b_5_book/pdf/3r_manabiai_book.pdf